

大分合同新聞 (朝刊)

平成 28 年(2016) 10 月 1 日(土)

災害時の健康維持学ぶ

湯布院町でセミナー

由布市湯布院町の地域医療機能推進機構湯布院病院で9月29日、災害発生時の健康維持などを学ぶセミナーがあった。

外来患者を中心に約50人が参加。病院職員が災害時の避難方法や服薬の注意点を

など4項目を講話。

このうち歯科衛生士の三ノ宮美紀さん(38)は、阪神淡路大震災では肺炎による災害関連連死があり、その多くが誤嚥性だったといわれていることを説明。「口の中をきれいにすれば肺炎は予防できる」と強調した。歯ブラシがない場合、ハンカチやティッシュ

で歯の汚れを拭いても効果があることを紹介したり、普段から歯の問題をなくしておく大切さなどを訴えた。



口内のケアについて講話する三ノ宮美紀さん

同病院は4月の熊本・大分地震で被災。約1週間断水し、患者の転院などの対応に追われた。根橋良雄院長は「住民のお役に立てればと開いた。今回は講話だったが、体験型にするなど今後も活動を継続できれば」と話した。